

最近の経済動向

平成28年11月号

北海道の景気動向(平成28年9月の経済指標を中心として)

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

■需要動向(消費・投資)

- P 1 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、新車登録台数)
緩やかに持ち直している
- P 2 住宅建設(新設住宅着工戸数)
持ち直している
- P 3 公共工事(公共工事請負金額)
減少している
- P 3 観光(来道者数)
改善している
- P 4 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■生産動向

- P 4 生産活動(鉱工業生産指数)
一進一退の動きとなっている
- P 5 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数は横ばい、負債総額は減少した

■雇用動向

- P 6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善している
- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を下回った

■企業情報

- P 8 企業のみなさまから伺いました

■地域の経済動向

- P 9 道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

■景気動向指数・全国の景気

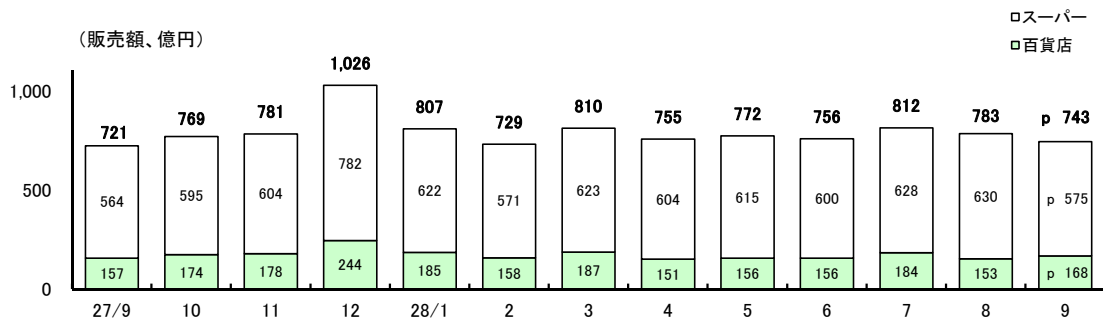
- P 15 北海道の景気動向指数

[需要動向(消費・投資)]

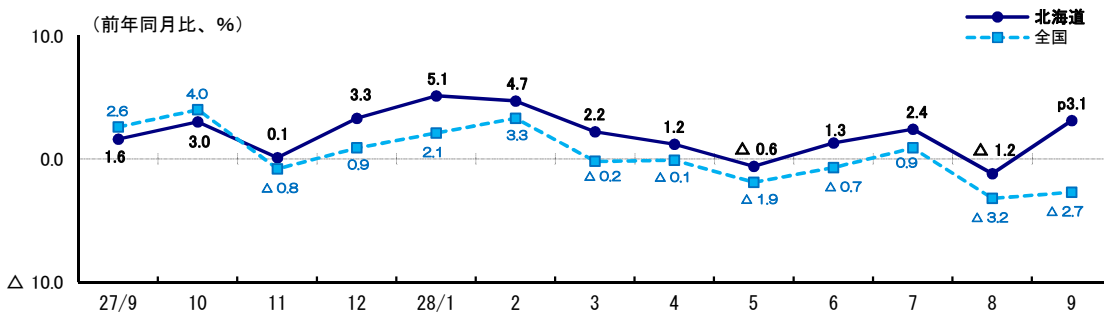
■個人消費～緩やかに持ち直している

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(9月)◆

百貨店・スーパー販売額は、743億円で前年同月比3.1%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。



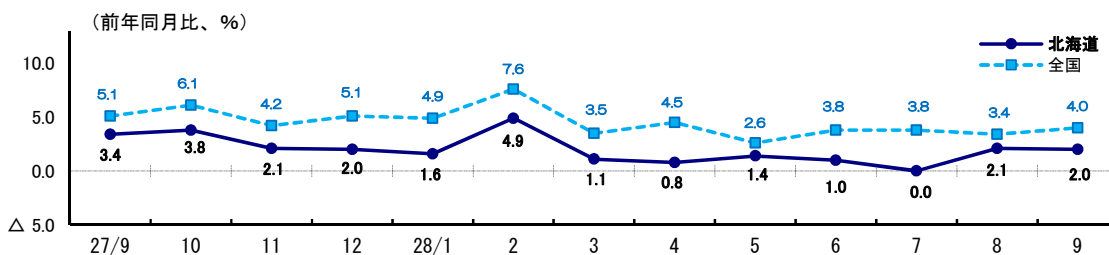
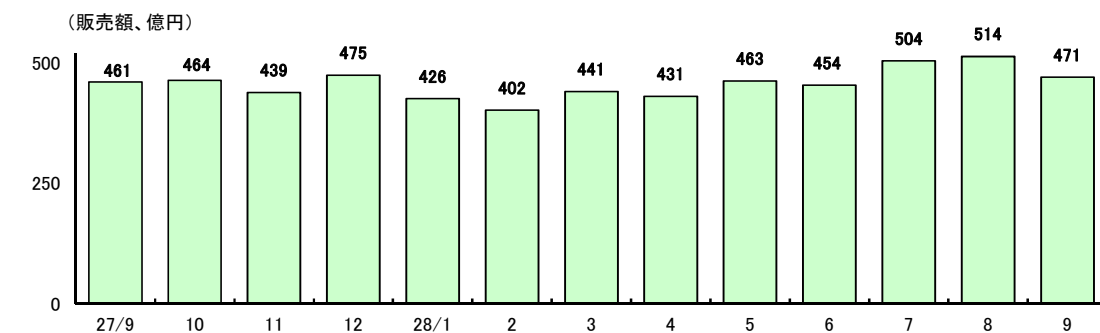
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(9月)◆

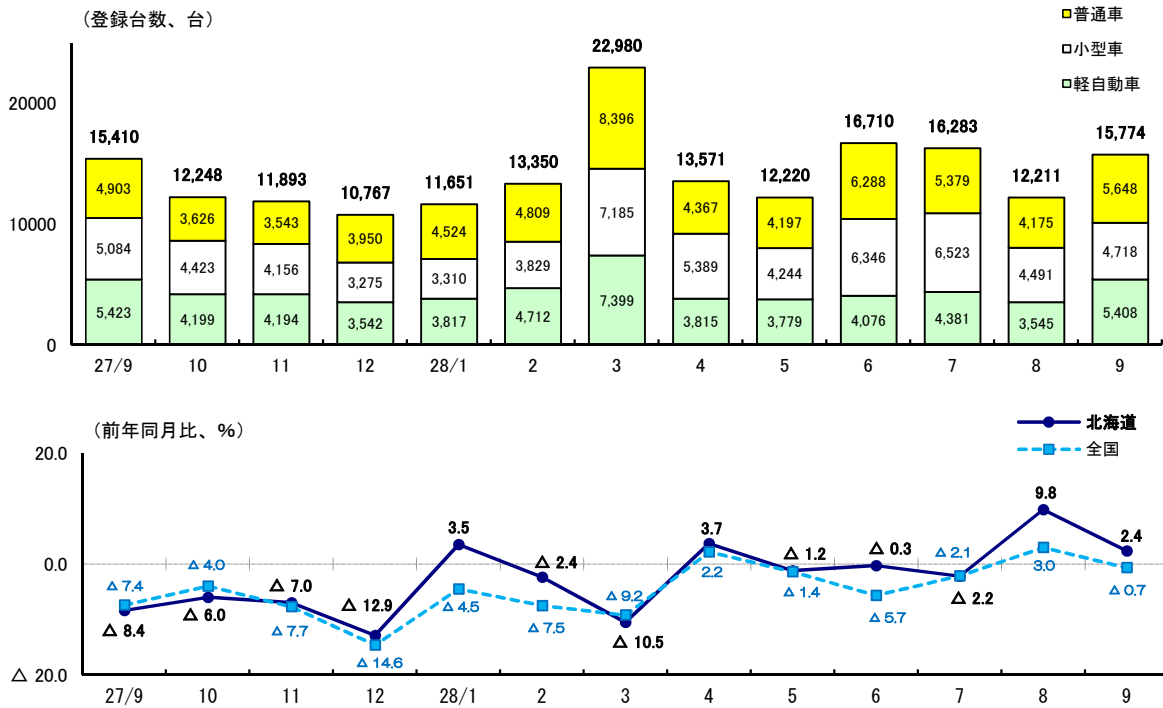
コンビニエンスストア販売額は、471億円で前年同月比2.0%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（9月）◆

新車登録台数は、15,774台で前年同月比2.4%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

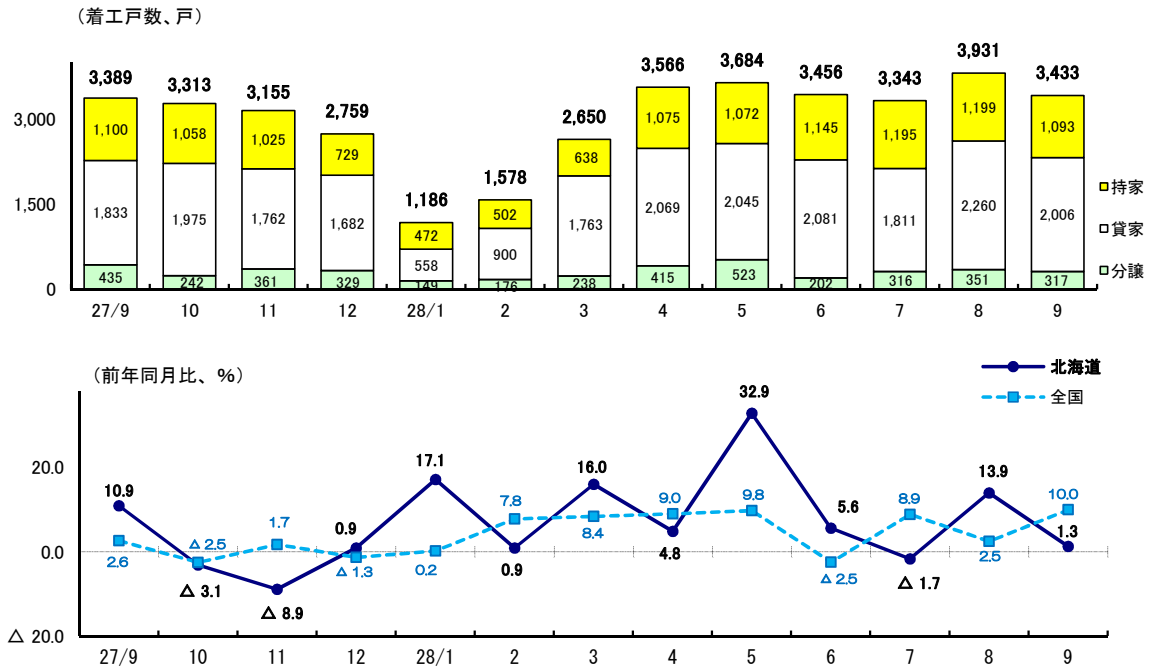


((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設～持ち直している

◆新設住宅着工戸数（9月）◆

総戸数は、3,433戸で前年同月比1.3%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

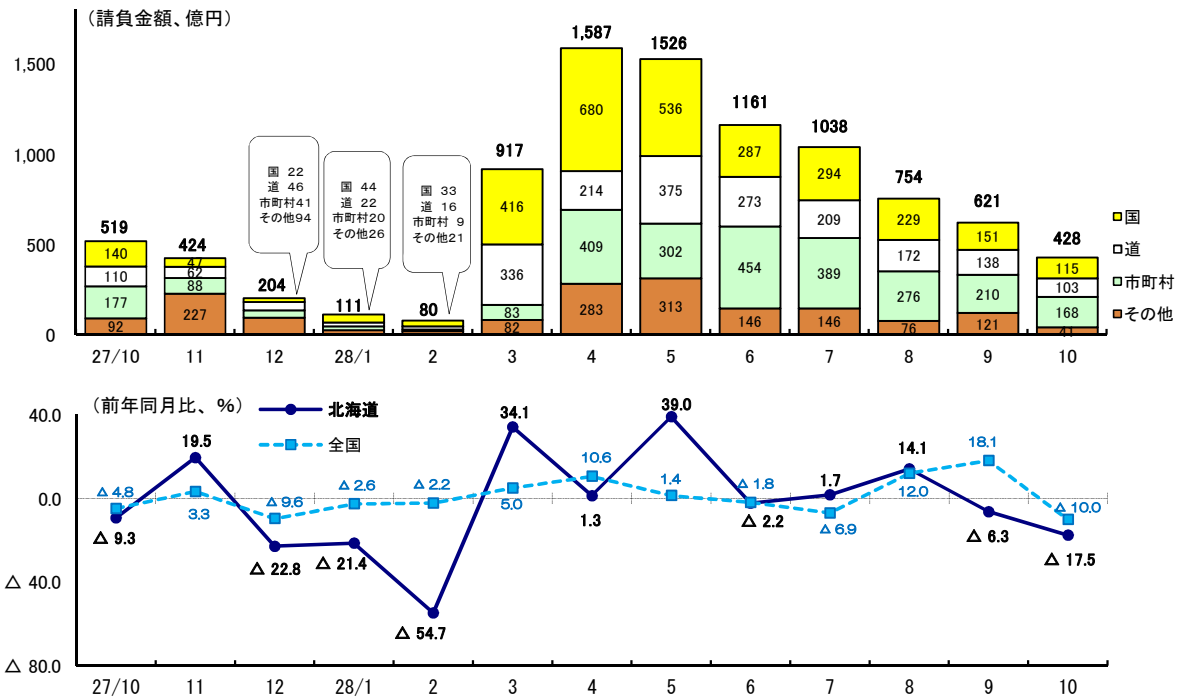


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～減少している

◆公共工事請負金額（10月）◆

請負金額は、428億円で前年同月比17.5%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

■観 光～改善している

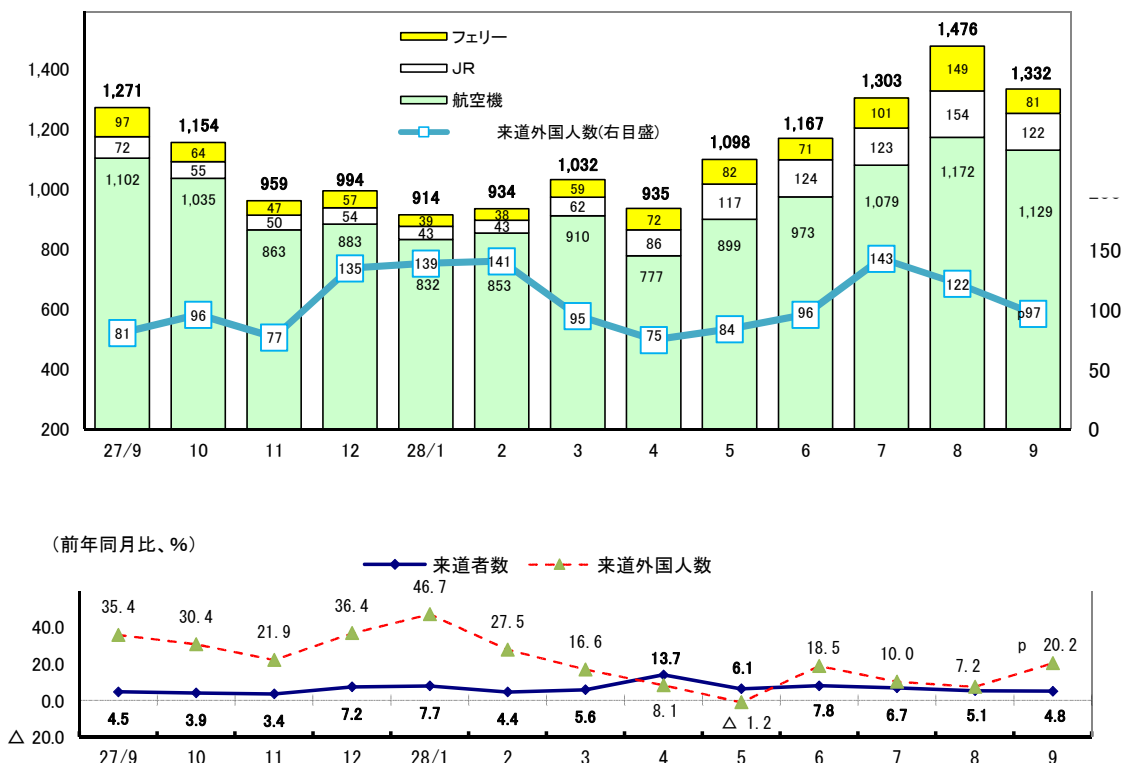
◆来道者数（9月）◆

来道者数は、133万2千人で前年同月比4.8%の増加となり、23か月連続で前年を上回った。

本道に直接入国した外国人は、9万7千人で同20.2%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

(来道者数、千人)

(来道外国人数、千人)

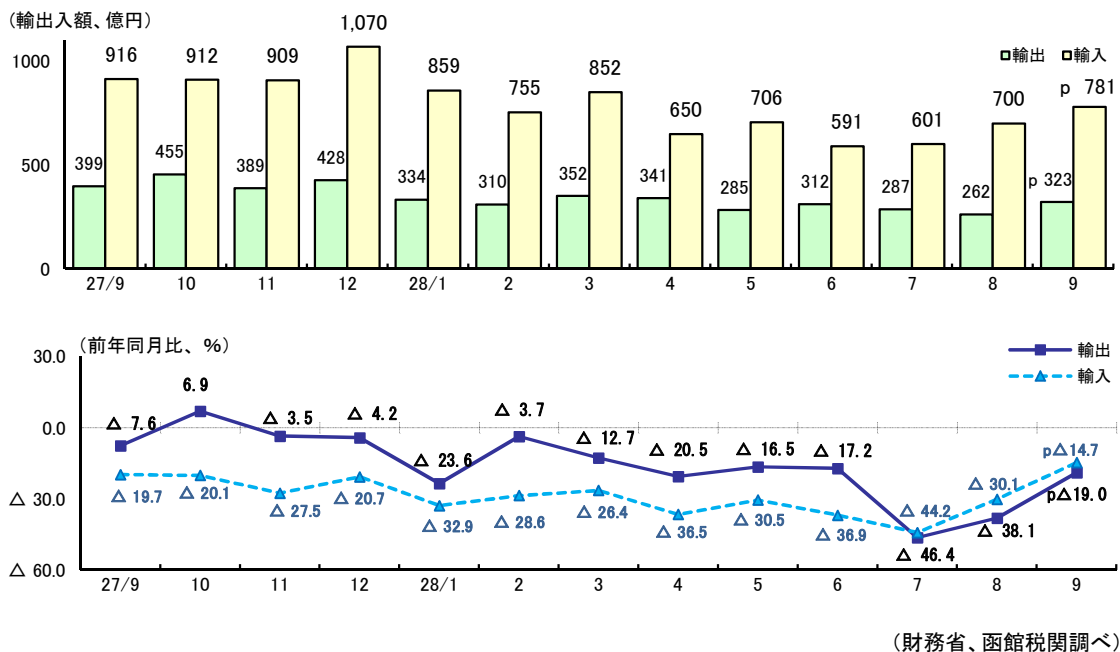


((公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局調べ)

■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

◆輸出入額（9月）◆

輸出額は、323億円で前年同月比19.0%の減少となり、11か月連続で前年を下回った。
輸入額は、781億円で同14.7%の減少となり、14か月連続で前年を下回った。

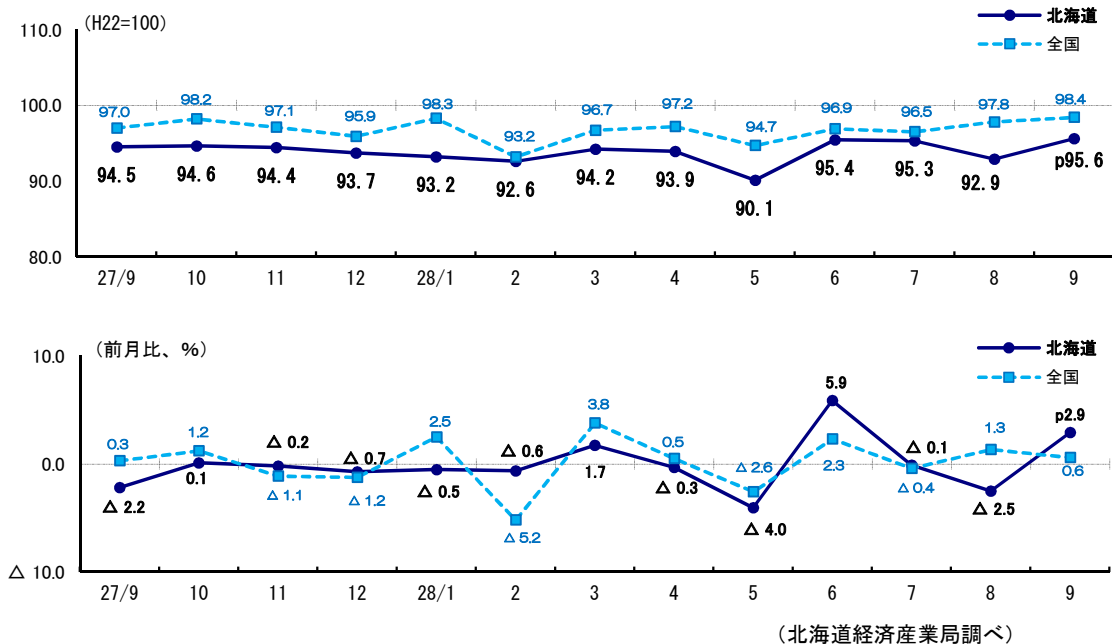


[生産動向]

■生産活動～一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（9月）◆

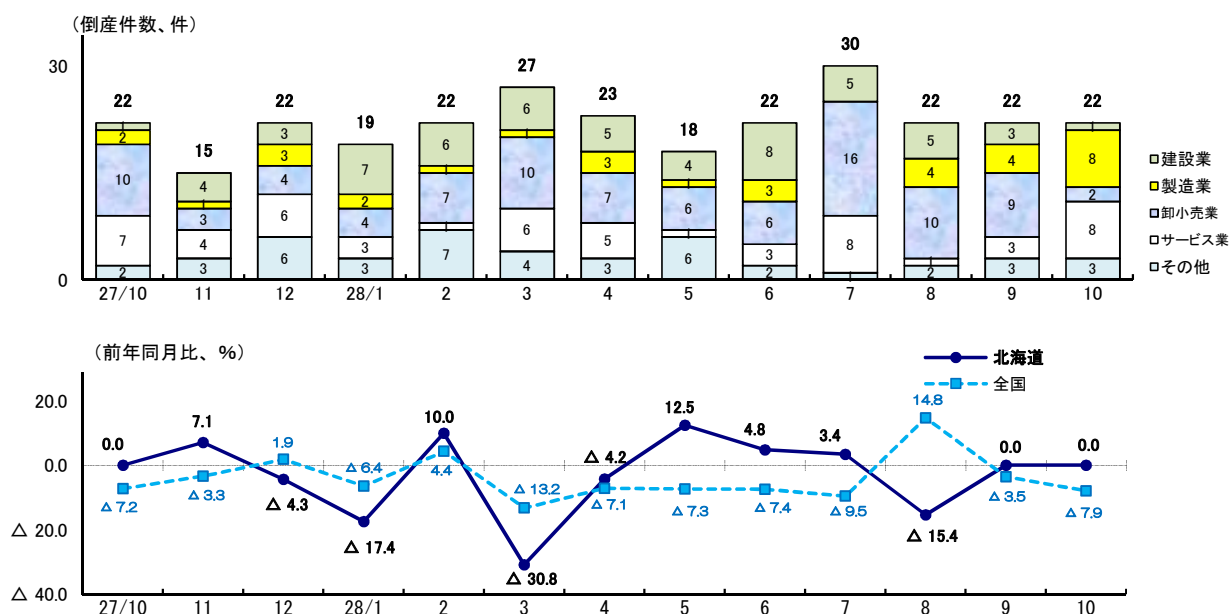
鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.6で前月比2.9%の上昇となり3か月ぶりに前月を上回った。



■企業倒産～倒産件数は横ばい、負債総額は減少した

◆企業倒産件数（10月）◆

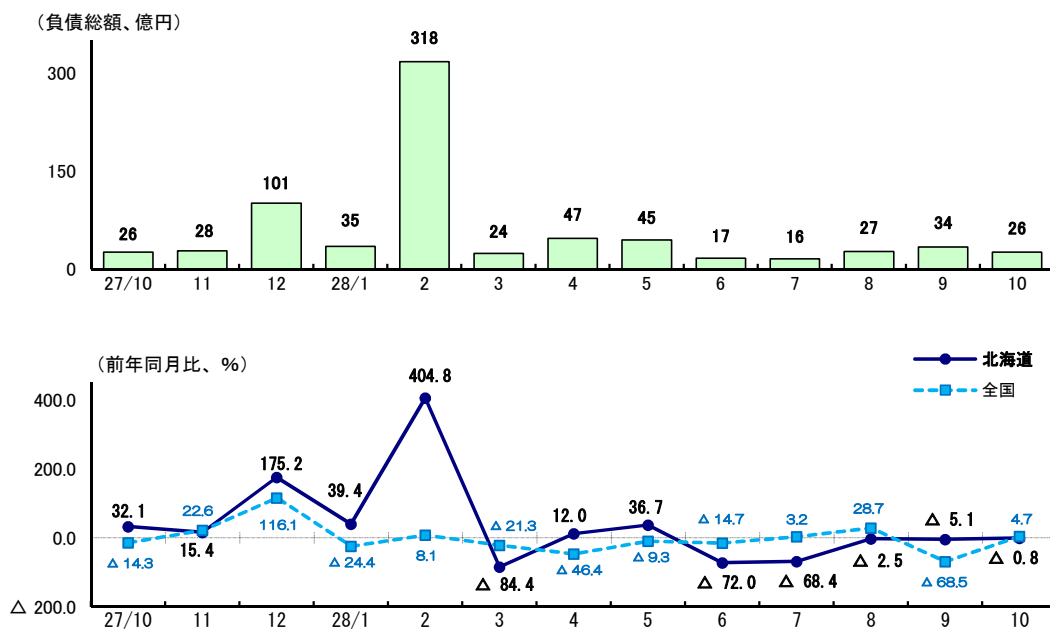
企業倒産件数は、22件で前年同月と同数となった。



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（10月）◆

負債総額は、26億円で前年同月比0.8%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。



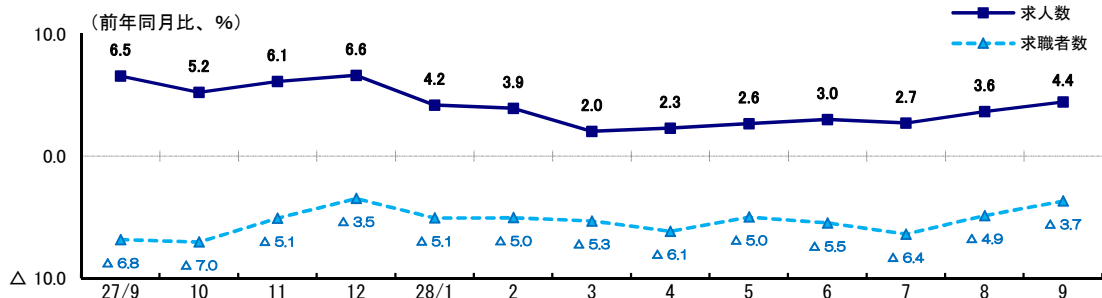
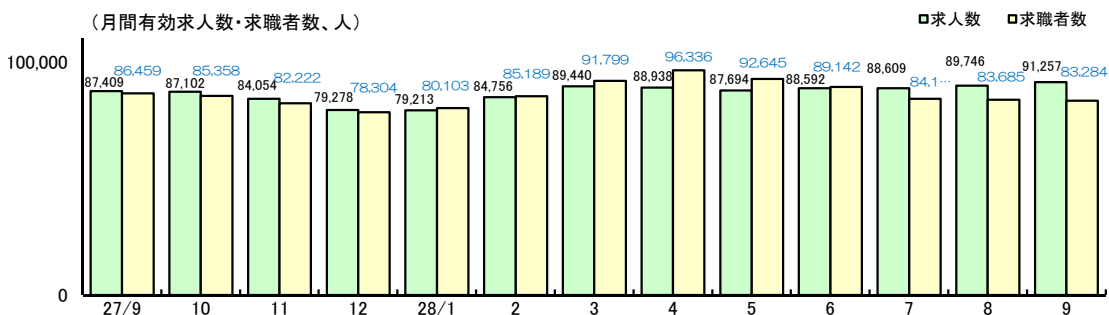
((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～改善している

◆月間有効求人数・求職者数（9月）◆

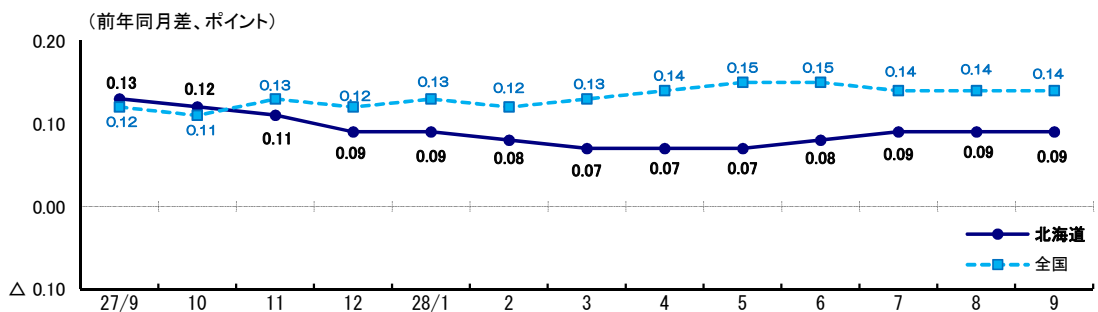
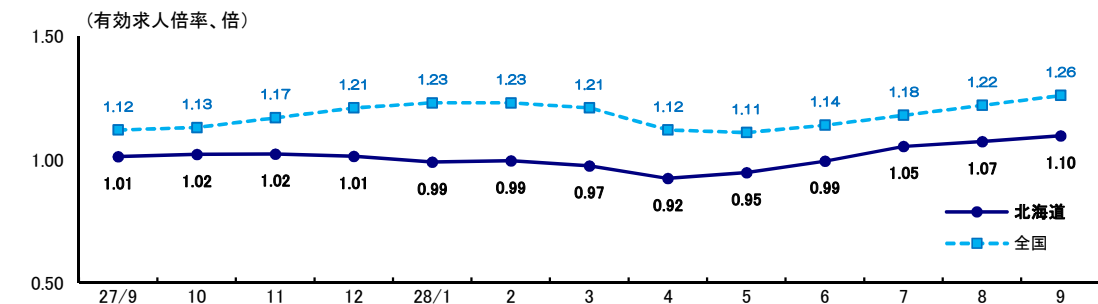
月間有効求人数は、9万1,257人で前年同月比4.4%の増加となり、80か月連続で前年を上回った。
月間有効求職者数は、8万3,284人で同3.7%の減少となり、59か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（9月）◆

有効求人倍率は、1.10倍で前年同月差で0.09ポイントの増加となり、80か月連続で前年を上回った。

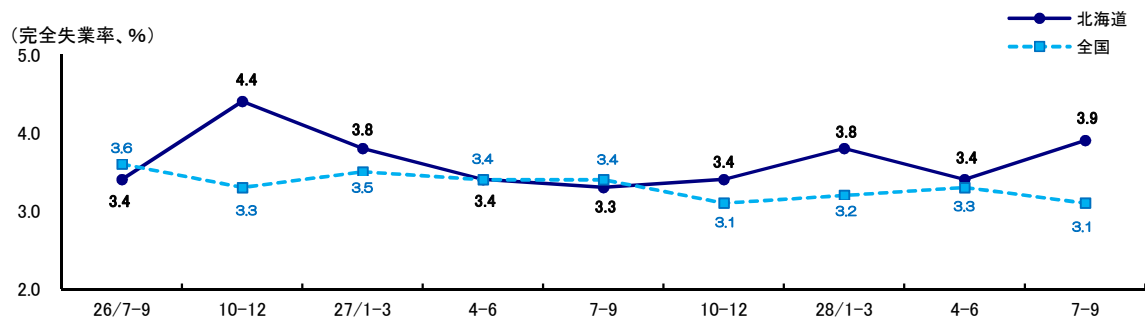
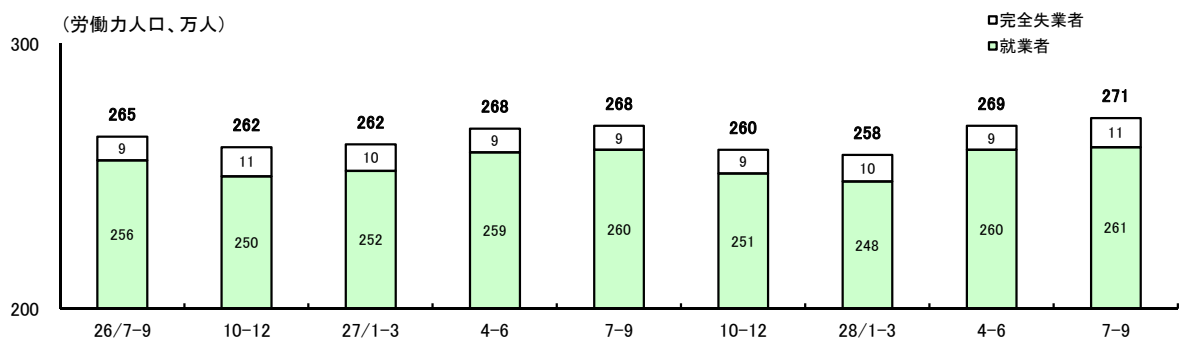


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（28年7-9月期）◆

完全失業者数は、11万人で前年同期と比べ2万人増加した。
完全失業率は、3.9%で前年同期と比べ0.6ポイント上昇した。



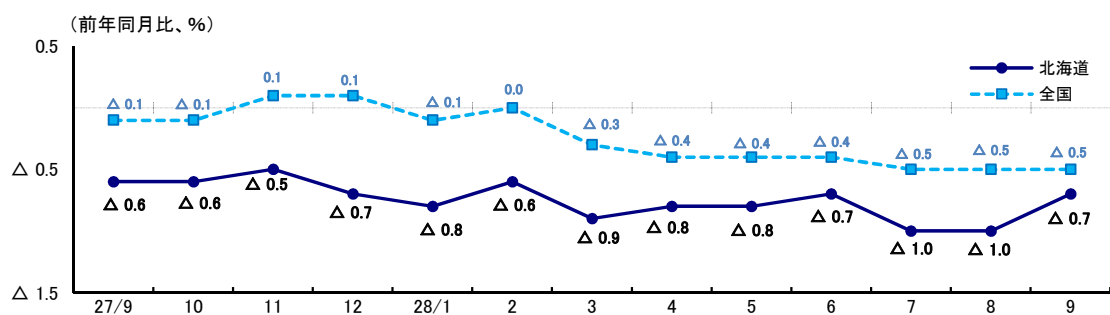
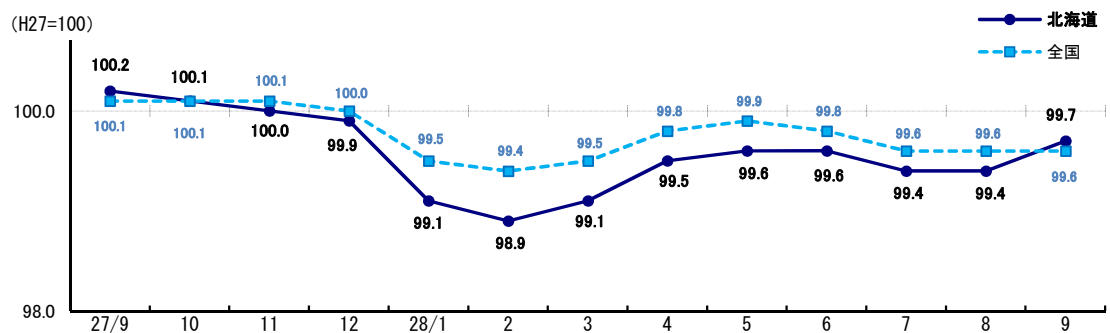
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価～消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（9月）◆

消費者物価指数は、99.7で前年同月と比べ0.7%の低下となり、18か月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【日本ハムの優勝記念セールが好調】

10月は季節柄、マフラーや手袋など雑貨が好調だったほか、北海道日本ハムの優勝記念セールや前年同月と比べ日曜日が1日多かったことなど売上にプラスに働く要因があったものの、衣料品の動きが鈍かったことやインバウンドの不調、大型催事の月ズレ等の影響で、売上は前年を下回った。

◆スーパー(道央圏)

【売上は堅調に推移】

10月は、上旬に雨、下旬には雪が降ったが、降水量が少なかったことに加えて、日曜日が1日多かったことから、来店客数、売上ともに前年並を確保することができた。

野菜については、先月と比較して下がっているが、台風の影響を受けた先月の高値が異常だっただけで、昨年同期と比較するとまだ高値が続いており、売上も堅調だった。

日本ハムファイターズのリーグ優勝セールを行ったが、セール対象品の売上は順調だった。

この時期から、鍋の材料やカップ麺などが売れ出す傾向にあり、上旬から寒い日が続いている11月に期待している。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【気温が低めに推移したことで温かい商品が好調】

10月は、寒気の影響で雪が降るなど、気温は平年よりかなり低く推移したため、鍋焼きうどんなど温かい麺類などが好調であったが、客数が伸びなかった。

【北海道日本ハムの日本シリーズ進出による影響】

北海道日本ハムのクライマックスシリーズ、日本シリーズに進出したことで、試合の翌日はスポーツ新聞の売れ行きが好調であった。

【地域の動き】

前月に引き続き、新幹線開業に向けた工事終了に伴う反動減や台風の影響などにより、道南や道東で売上は伸びなかったが、道北では農業関連の工事需要もあり好調だった。

◆製造業(オホーツク圏)

【地元企業に研究成果等を還元】

通信端末の成形から組立までの一貫生産をコンセプトとし、当初は、様々なメーカーからの受注を受けていたが、海外への生産拠点シフトの影響から受注額は減少。その後、国内回帰も見受けられる中、働き手の高齢化や人口率低下の影響から労働力の確保が困難な状況にあり、受注額は著しい回復とまでは言えないが回復基調傾向にはある。

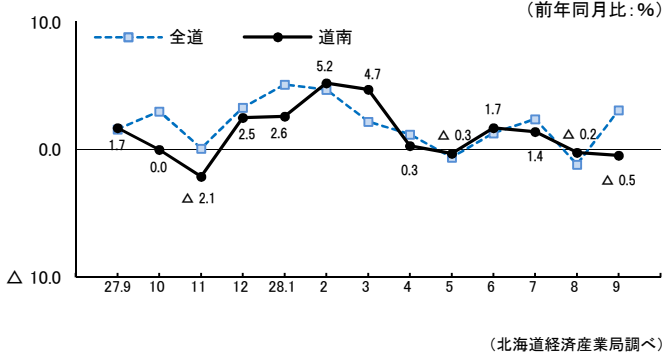
また、「徹底3S」活動の実践により環境整備や生産性向上の成果を上げ、変動要素に影響されない安定収益性の企業体質を強化。現在は、この「徹底3S」の手段を、異業種交流会を通じた地元企業への還元や普及を目的に指導を開始している。

[地域の経済動向]

■道南圏

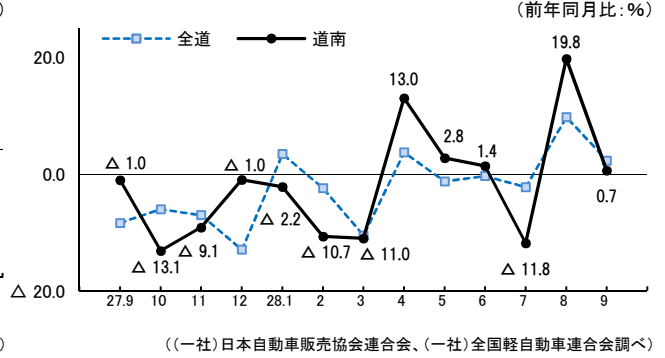
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(9月)◆

(全店、函館市)
2か月連続で前年を下回った



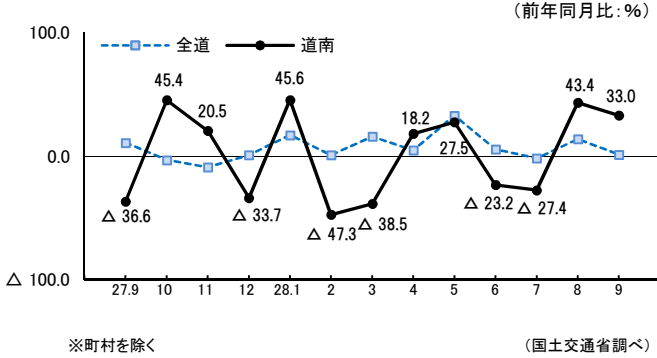
◆新車登録台数(乗用車)(9月)◆

2か月連続で前年を上回った



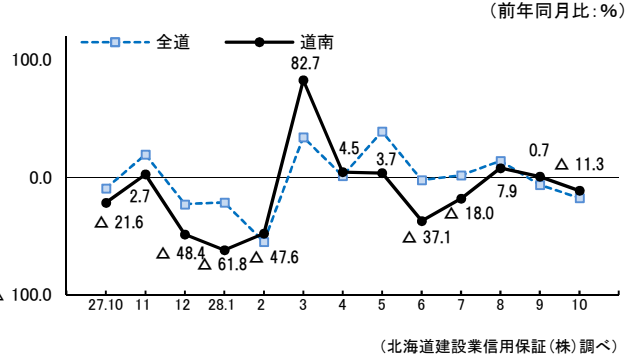
◆新設住宅着工戸数(9月)◆

2か月連続で前年を上回った



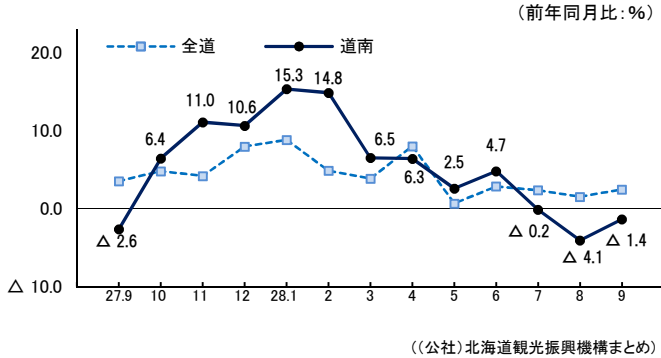
◆公共工事請負金額(10月)◆

3か月ぶりに前年を下回った



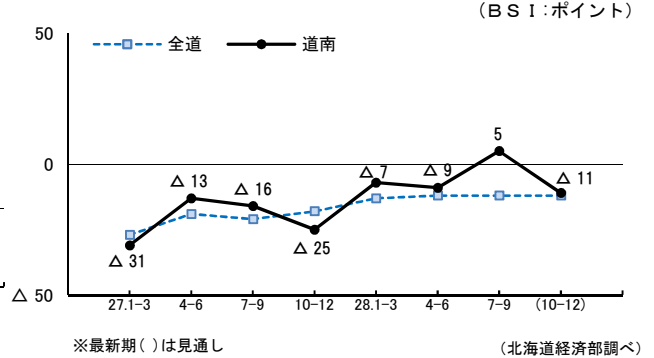
◆航空機利用による来道者数(着地別)(9月)◆

3か月連続で前年を下回った



◆企業の業況感(7-9月期)◆

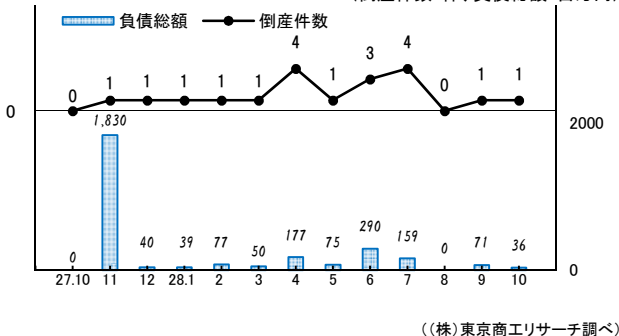
今期はプラスに転換した



◆企業倒産件数・負債総額(10月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

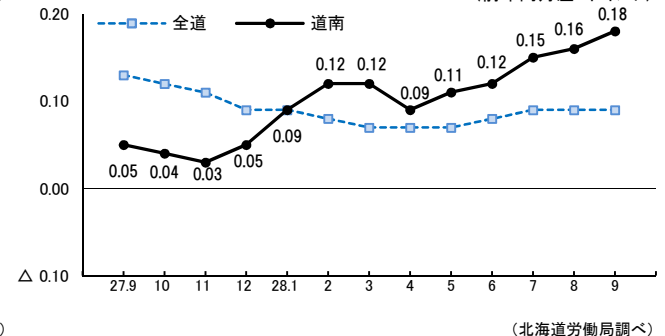
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(9月)◆

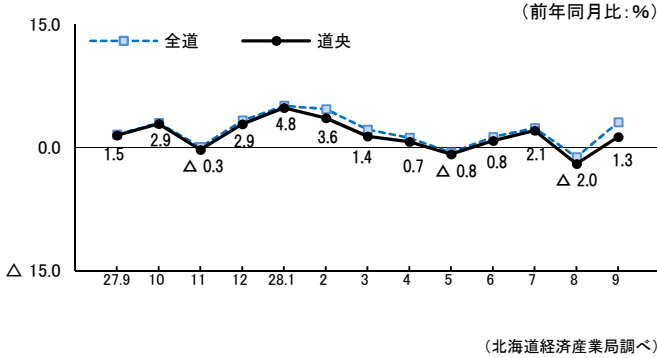
77か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

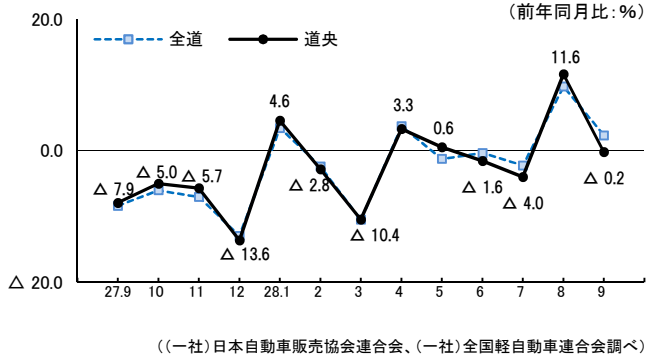


■道央圏

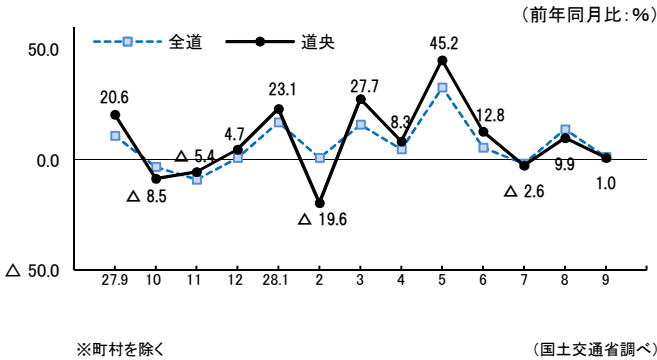
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(9月)◆ (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市) 2か月ぶりに前年を上回った



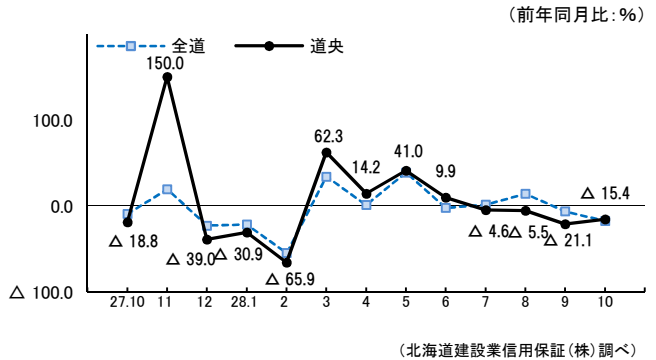
◆新車登録台数(乗用車)(9月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



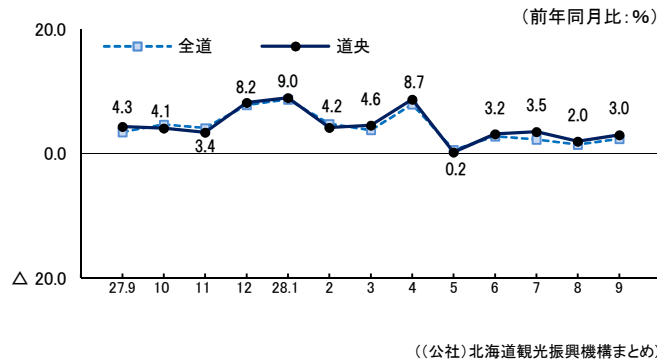
◆新設住宅着工戸数(9月)◆ 2か月連続で前年を上回った



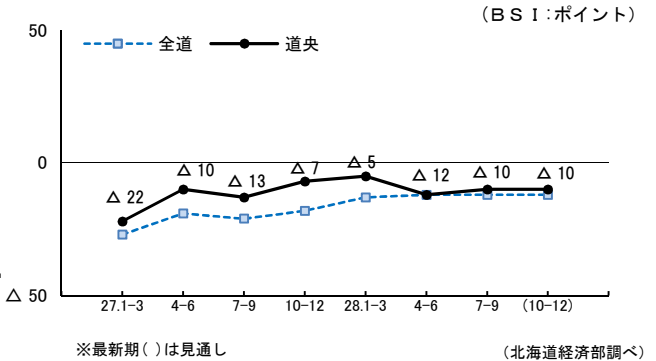
◆公共工事請負金額(10月)◆ 4か月連続で前年を下回った



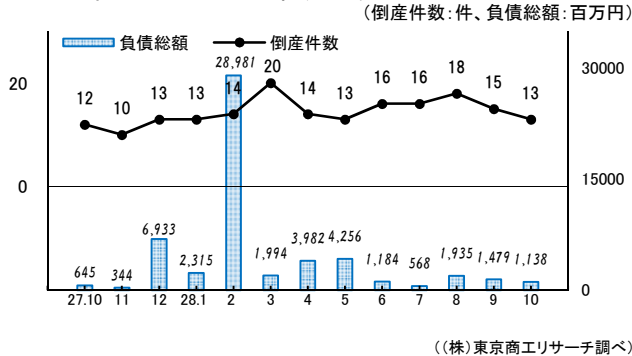
◆航空機利用による来道者数(着地別)(9月)◆ 27か月連続で前年を上回った



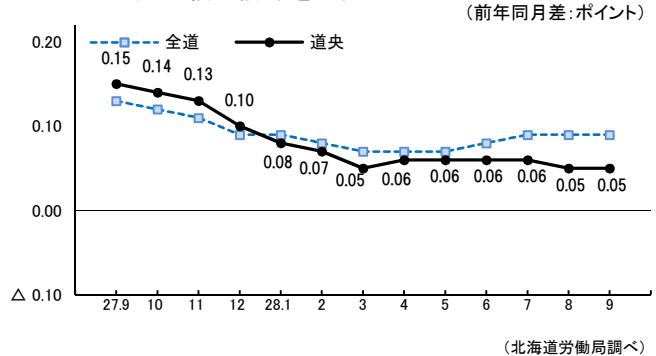
◆企業の業況感(7-9月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(10月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



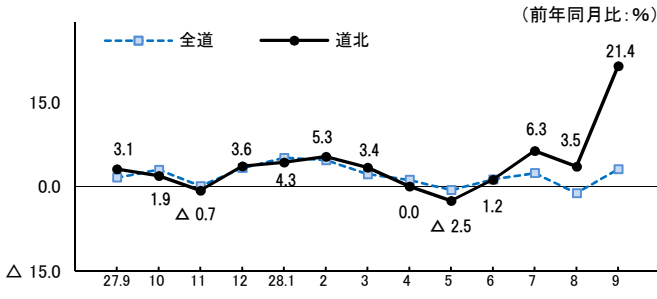
◆有効求人倍率(9月)◆ 79か月連続で前年を上回った



■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(9月)◆

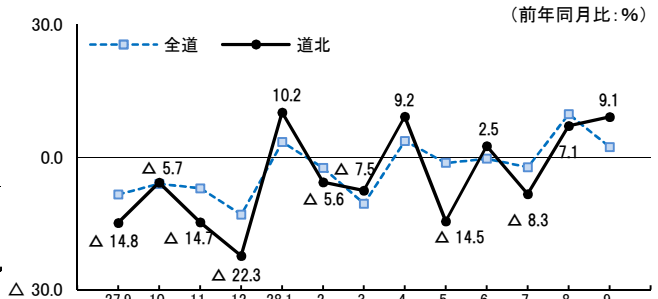
(全店、旭川市)
4か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(9月)◆

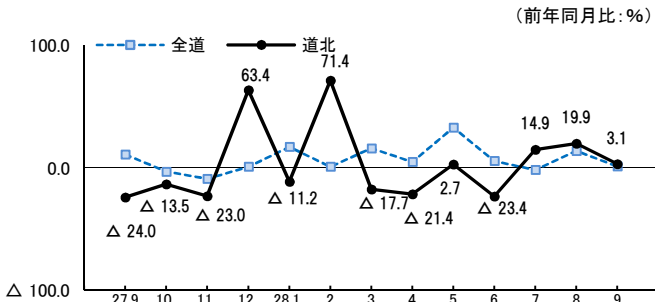
2か月連続で前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(9月)◆

3か月連続で前年を上回った

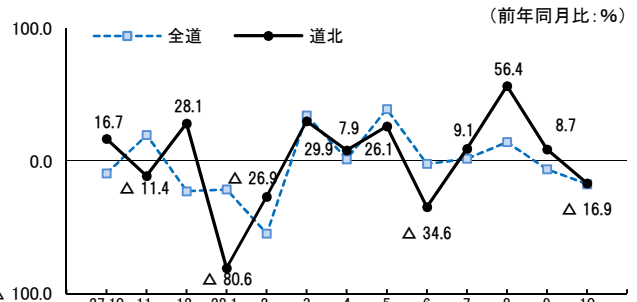


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(10月)◆

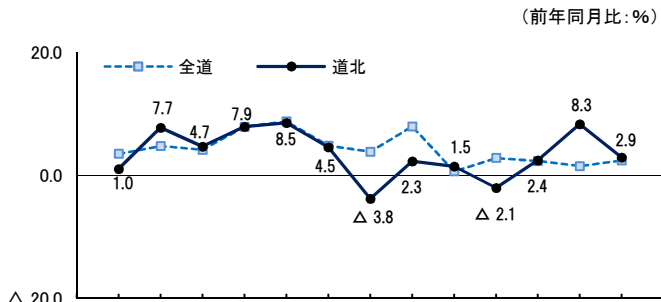
4か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(9月)◆

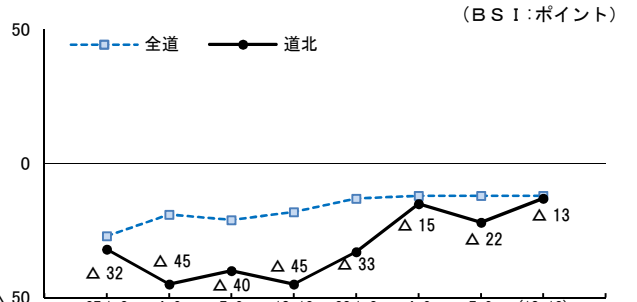
3か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



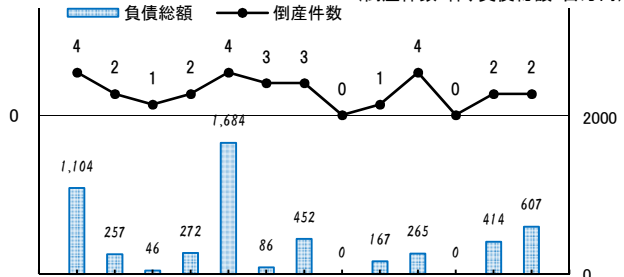
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(10月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

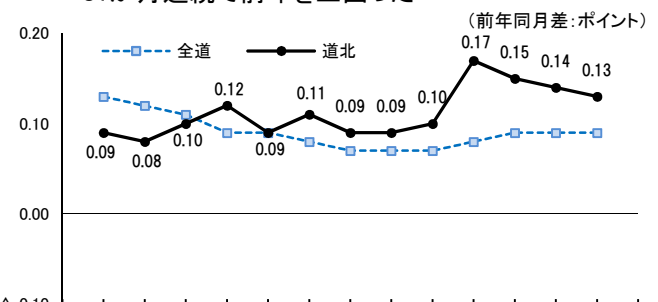
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(9月)◆

81か月連続で前年を上回った

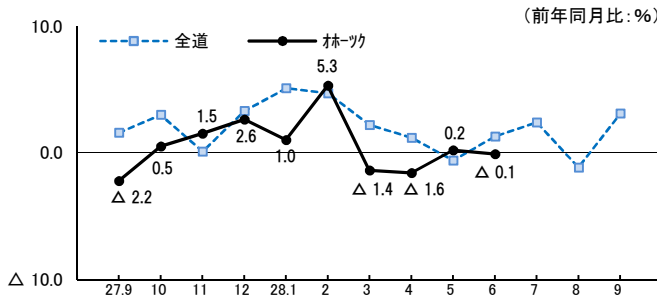


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高（全店）（6月）◆

2か月ぶりに前年を下回った

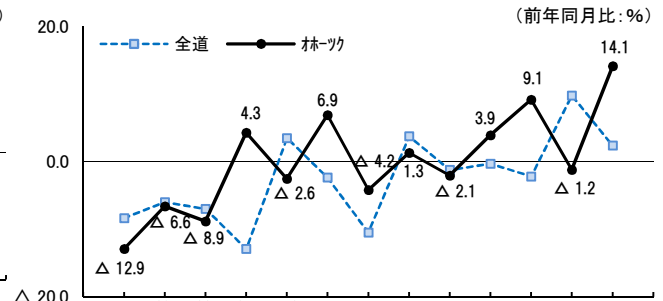


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)（9月）◆

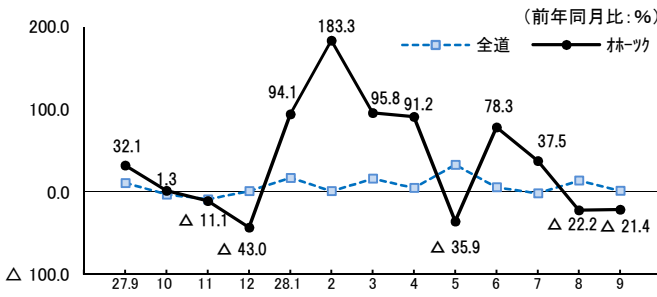
2か月ぶりに前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数（9月）◆

2か月連続で前年を下回った

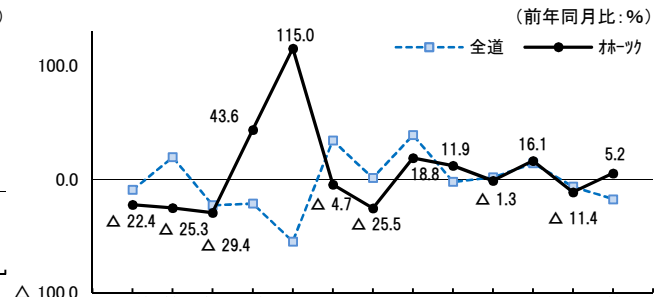


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額（10月）◆

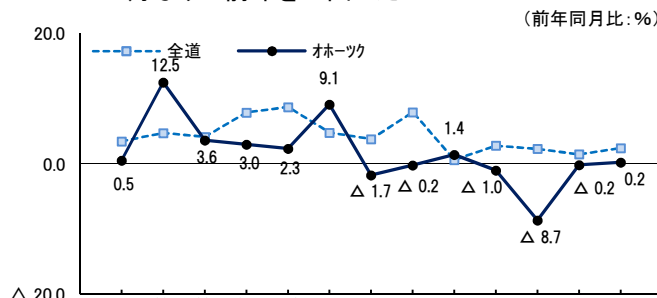
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)（9月）◆

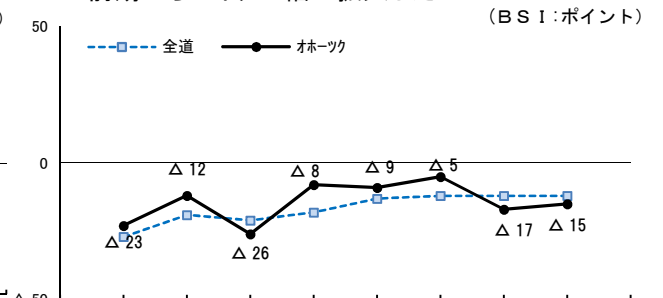
4か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感（7-9月期）◆

前期からマイナス幅が拡大した



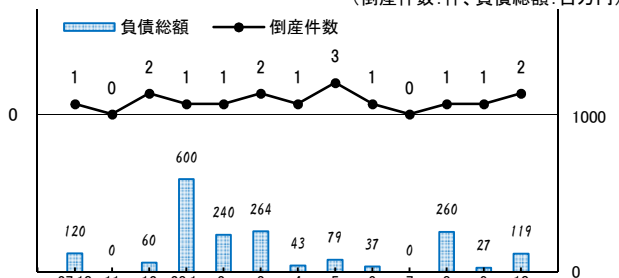
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額（10月）◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

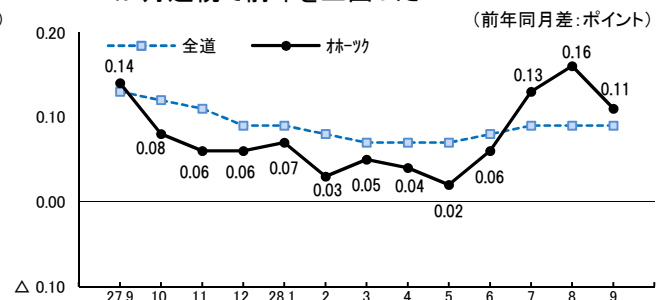
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率（9月）◆

85か月連続で前年を上回った



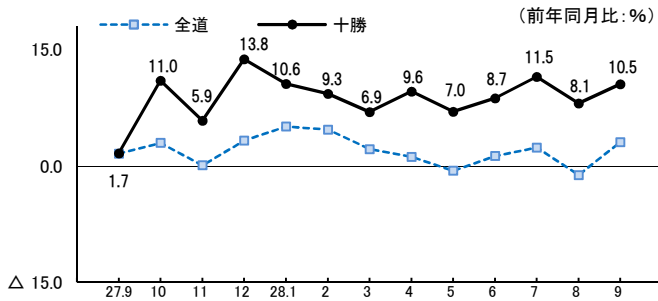
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(9月)◆

(全店、帯広市)

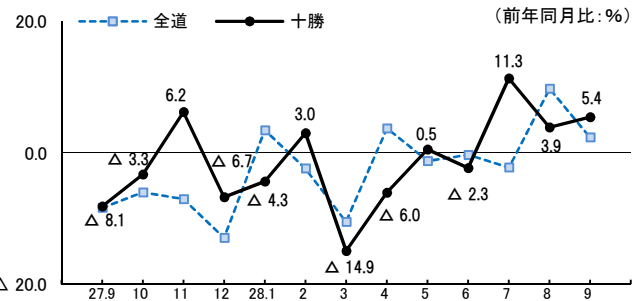
15か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(9月)◆

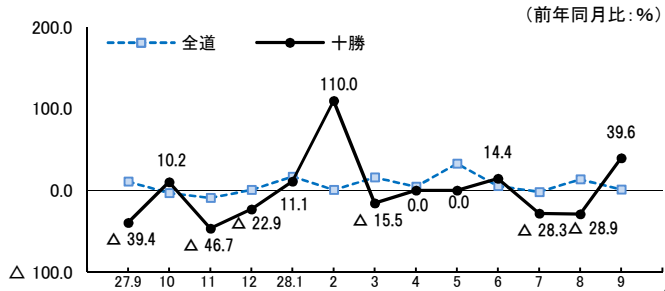
3か月連続で前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(9月)◆

3か月ぶりに前年を上回った

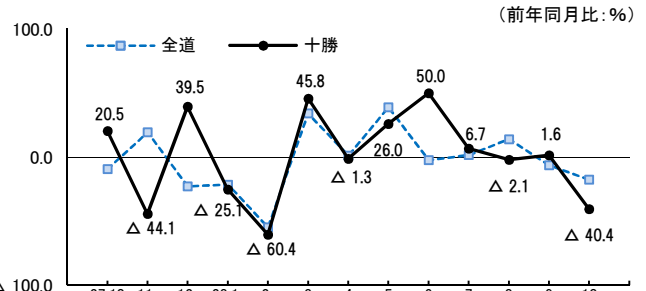


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(10月)◆

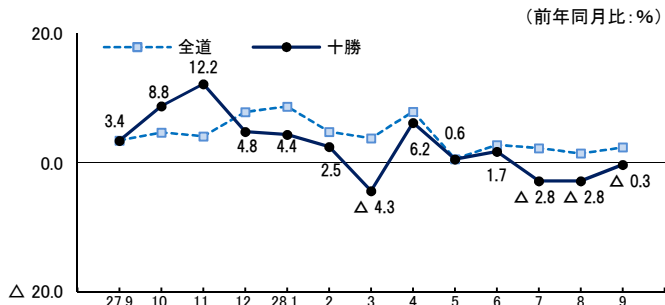
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(9月)◆

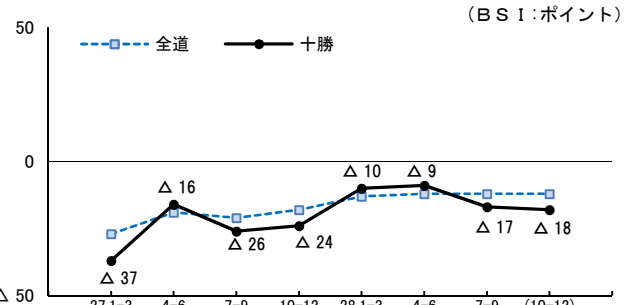
3か月連続で前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



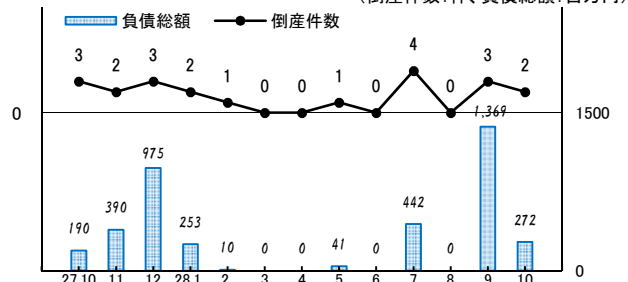
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(10月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

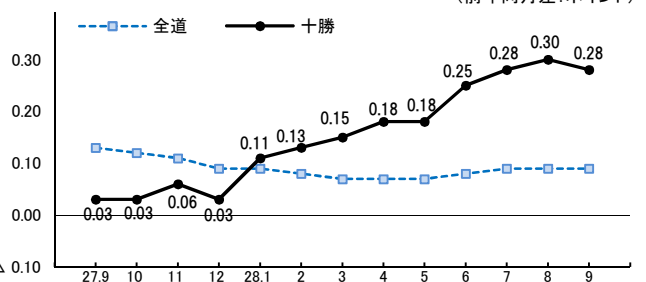


((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(9月)◆

22か月連続で前年を上回った

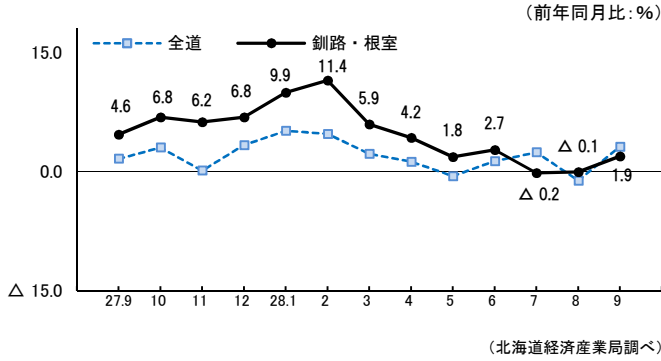
(前年同月差:ポイント)



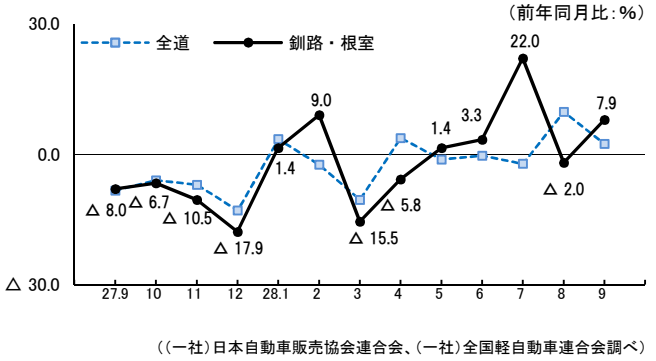
(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

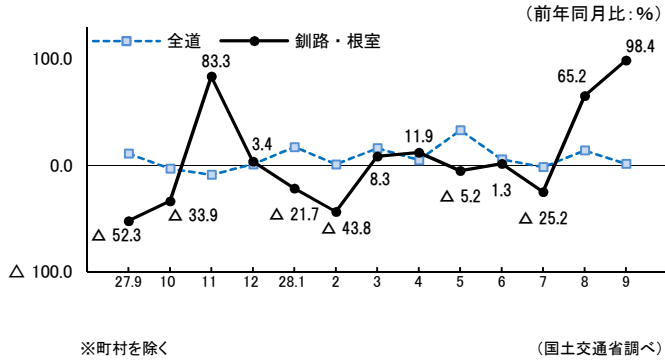
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(9月)◆ (全店、釧路市) 3か月ぶりに前年を上回った



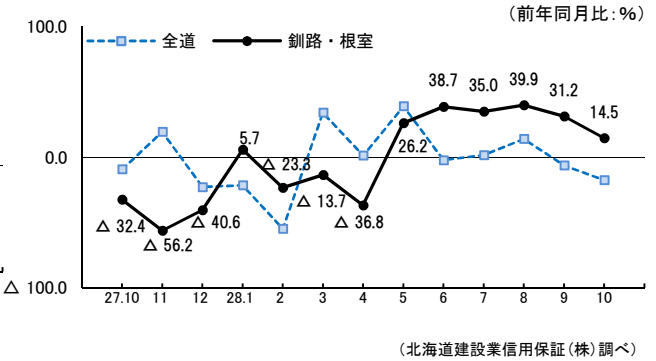
◆新車登録台数(乗用車)(9月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



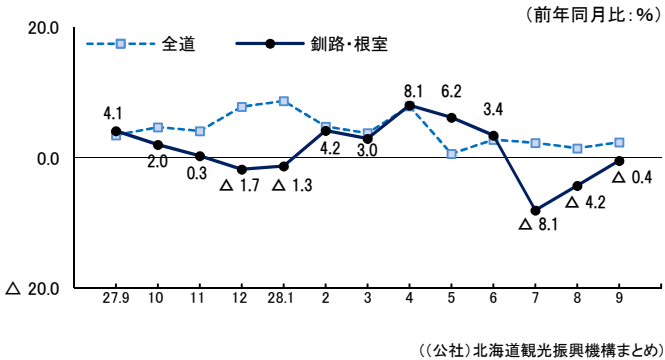
◆新設住宅着工戸数(9月)◆ 2か月連続で前年を上回った



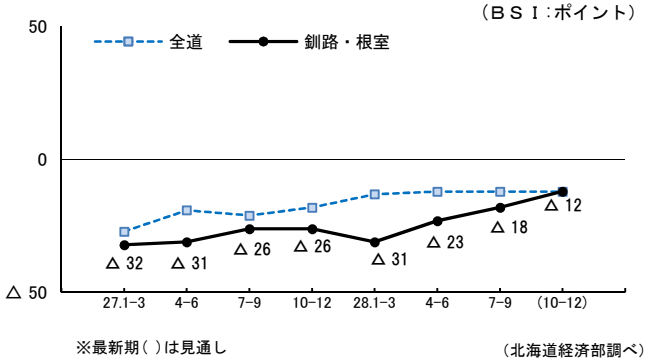
◆公共工事請負金額(10月)◆ 6か月連続で前年を上回った



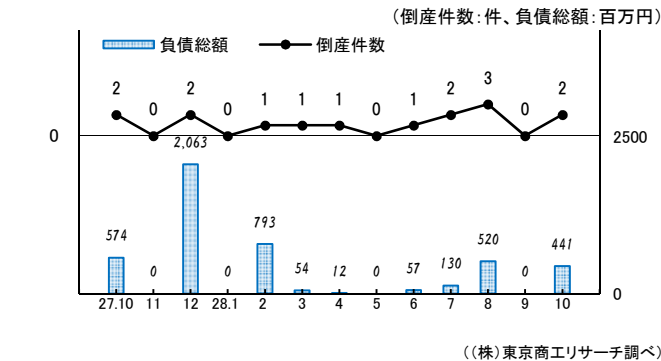
◆航空機利用による来道者数(着地別)(9月)◆ 3か月連続で前年を下回った



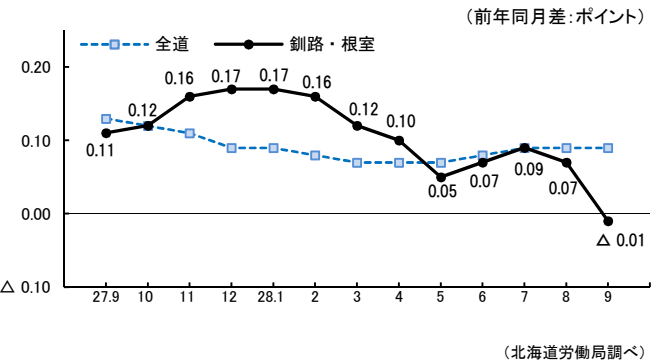
◆企業の業況感(7-9月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(10月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



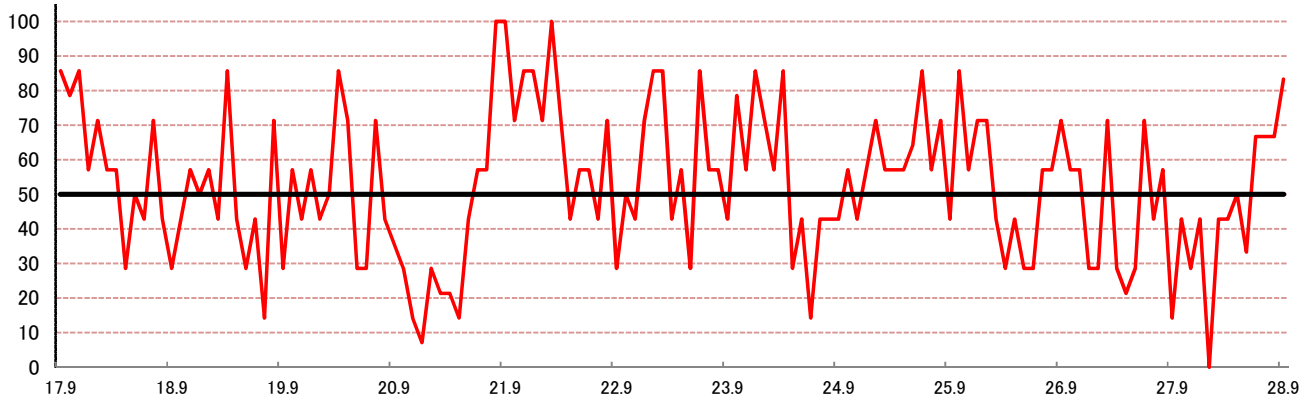
◆有効求人倍率(9月)◆ 82か月ぶりに前年を下回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		27/ 9月	10月	11月	12月	28/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	-	-	-	-	+	-	+	+	+	+	-	-
	生産指数(生産財)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	r-	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	-	+	+	-	-	-	+	+	-	+	+
	新設住宅着工戸数	+	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	+	+	+	+	-	+	-	+	-	-	+	-
	企業業況判断D.I.	-	+	+	+	0	0	0	0	+	+	+	-	-
	拡張系列数	2	3	2	4	3.5	3.5	3.5	3.5	6	4	3	3	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	28.6	42.9	28.6	57.1	50.0	50.0	50.0	50.0	85.7	57.1	42.9	r42.9	p42.9
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	-	+	-	-	-	-	-	+	+	-	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	r+	p+
	出荷指数(生産財)	-	-	+	-	-	-	+	+	-	-	-	r+	p+
	大口電力使用量	-	+	-	-	-	+	-	/	/	/	/	/	/
	百貨店販売額(既存店)	+	-	-	+	-	+	-	-	-	+	+	r+	p+
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	+	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	r+	p+
	拡張系列数	1	3	2	3	0	3	3	3	2	4	4	4	5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
	一致指数	14.3	42.9	28.6	42.9	0	42.9	42.9	50.0	33.3	66.7	66.7	r66.7	p83.3
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	-	+	+	+	0	0	-	-	-	0	0	0	-
	消費者物価指数(総合)	-	-	0	-	-	-	-	+	-	0	-	0	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-	-	-	+
	生産指数(資本財)	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	+	r+	p-
	拡張系列数	3	2	4.5	2	0.5	1.5	0	2	1	3	1.5	2	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	60.0	40.0	90.0	40.0	10.0	30.0	0.0	40.0	20.0	60.0	30.0	r40.0	p50.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。Pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成28年11月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>